

松戸市長 本郷谷健次 様  
松戸市教育長 山根恭平 様

2011年12月14日

## 要望書

松戸市PTA問題研究会  
代表 浅井ゆき  
047-364-6356

福島原発事故から9ヶ月が経ちますが、子どもたちが日中の大半を過ごす施設の除染は依然として進んでおりません。

先日、学校放射線量マップが公表されましたが学校敷地内の線量の高さに多くの保護者が子どもたちの被曝を危惧しております。冬になり空気が乾燥して来ますと学校敷地内の土埃が舞い上がり飛散しやすくなります。そのため、校内土壌の部分的な除染は意味がないと思われれます。外部被曝は元より、土埃を吸い込むことによる子どもたちの内部被曝を防ぐために学校生活における下記のことを要望いたします。

### 記

1. 屋外活動の時間と場所の制限
  - 屋外活動の時間の短縮をお願いします。
  - 特に線量の高い場所への立ち入り禁止を明確に掲示してください。
  - 風の強い日など気象状況により屋外活動を制限してください。
  - 校庭の水撒きを徹底してください。
  - 屋外活動の前に必ず放射線量を測定してください。
2. 生徒に落ち葉掃除をさせないでください。  
マスクもせずに掃き掃除をしている子どもがほとんどです。  
改めてマスクの励行をお願いします。
3. 学校放射線量マップを教育委員会から保護者に通達として出してください。  
学校によって保護者、生徒に向けての通達にばらつきがあります。また教師から生徒への校内線量の説明とそれに伴う指導の徹底をお願いします。
4. 給食のミキサー測定を一日も早く開始してください。
5. 学童保育所の放射線測定と除染をお願いします。  
学童保育所も多くの子どもたちが生活する場所です。学童保育所においても子どもたちの被曝量をできるだけ低く抑えるよう、学校と同じような放射線対策をお願いします。
6. 松戸市役所内に放射線対策室を設置してください。  
現在松戸市では、放射線対策協議会が設置されていますが、各担当部署の連絡調整以上の機能を果たしていないように思えます。市民からの問い合わせ・要望に関する窓口もバラバラです。市民からの問い合わせ・要望に迅速に対応できるように窓口を一本化し、また松戸市としての放射線対策を総合的、全面的に責任を持って迅速に進められるよう、放射線対策室を設置するようお願いします。

以上